

## 2 非難・叱責に幼稚な攻撃的反応を示すB男(2年生)

### 学習・行動上の特徴

理解力があり、文字も丁寧で美しい。漢字や計算もよくできるが、文章表現は苦手である。

お喋りをよくし、係活動は頑張っやドリッジボールなどで友達とも遊べる。

落ち着きがなく、じっとしてられない。授業に集中できない時は、立ち歩いたり、床に寝転んだりする。体育の時は、集団から離れて一人で好きなように動く。

友達の言動が気になり、暴力・暴言がある。他者から非難・叱責を受けると幼稚な攻撃的反応を示す。

指吸い・性器いじりがあり、自分の世界で“ぼーっ”としていることがある。肥満傾向。

### 特徴の考察

～ 文章を書いたり、対人関係を調整することは、情緒の安定・共感・情報の分析・記憶・感覚と動作の統合など、総合的で高度な活動である。

本児が、その面で困難を示すのは心理特性として注意集中の困難があるからだと思われる。生育歴や状況をよく把握する必要がある。

対人関係や状況を理解したり判断したりする社会性に課題があり、感情や行動をコントロールする力に弱さが見られる。

家庭や集団でのストレスを、空想の世界で解消していると思われる。対人関係の難しさや衝動的行動に対する抑制の未熟さ、興味関心の狭さなどがうかがわれる。

### 援助・指導の方針

本児は、明確なLDタイプの特定はできないが、言語面・情緒面の課題が大きい。

生育歴や環境から、家庭での「育ち」における問題（兄と妹の狭間で居場所がない・叩かれたり叱られることが多い・母親と遊んだ経験がないなど）が、明らかになった。それらは、本児の抑鬱感や内面の葛藤の一因となっていると考えられる。

社会性の未熟さのため、場面理解・状況判断ができにくいことに対しては、ロールプレイなどでコミュニケーション能力の向上を図り、感情を言語化させ、社会的スキルの習得を図りたい。また、絵日記や言葉を使うゲームなどで、言語理解・表現力を高め、言語機能面での向上も図りたい。そして指導の中で、本児が悩みを訴えやすい関係を作り、「自分だけの世界」から、趣味や友達へと目が向くようにしたい。

母親との相談を進め協力を得て、母親と本児と一緒に活動をすることにより、母子関係の改善を図り、あわせて本児が家族の一員としての自覚を深めるようにしたい。

### 留意点

指導・援助の働きかけについては、能力間のアンバランスを考慮し、優位な視覚を活用しつつ、聴覚も平行して刺激する方法により相互補完を図る。

本児の学級内での不適応状況の軽減のために、学級担任との連携を図る。

**援助・指導例**

(指導担当) 通級指導教室担当

(指導形態) 個別指導 週1回

**社会的スキル<感情の言語化>**

【せりふ作り】4コマ漫画や「P Fスタディ」などの一場面を用い、お話の吹き出しのせりふや、描かれた状況にマッチしたせりふを考える。〔左上図〕

**注意集中**

【聴唱・聴写・まちがいさがし・描画(自画像、手指のデザインなど)】

**母親との教育相談****ア ねらい**

言語理解・表現力を高め、言語能力の向上を図る。  
コミュニケーション能力の向上を図る。  
社会的スキルの習得を図る。

**イ 内容****言語**

【場面の叙述、短文作り、絵日記】出来事を話させたりテーマや順序に注意して書く練習をさせる。

【ゲーム】連想ゲーム、言葉遊び、スリーヒントゲーム、「わたしは誰でしょう」などで語彙を増やす。

【絵カード】配列絵カードなどの叙述の説明を通じて反対言葉や語彙を増やす。

**コミュニケーション**

【ロールプレイ】友達とのトラブル場面など

【母子プレイ】バドミントンや玩具などで、母親と一緒に遊ぶ。また、アルバムを持ってきてもらい、小さい頃のことを話し合っ<sup>6</sup>て絆を深めさせたりする。

【ゲーム】母親・本児・担当者の3人で各種ゲーム(トランプ・すごろくなど)

**指導後の変化及び考察****ア 変化**

視覚に訴え、イメージを持ちやすい教材では、集中して課題に取り組めるようになってきた。「絵の叙述」などでは、場面理解が少しずつできるようになり、テーマに添った話が作れるようになってきている。また、母親との関係も少しずつ変化してきており、次第に在籍学級での学習態度も以前と比べると、落ち着きがみられる。

**イ 課題**

自分を取り巻く状況がまだまだ理解できなかつたり、指示を与えても本質的な部分に目がい<sup>6</sup>かず、周囲の無関係な刺激に反応してしまう認知パターンが残っていたりする。じっくり考える態度が十分育っていないため、短絡的に短い言葉で「自分」を語ってしまう傾向も残っている。他者から自分がどのように見えるかを深く自己認識させるために、場面を具体的に思い出して、考え直す経験を積み重ねさせたい。